

病院です せいてつ こんにちは



特集

乳がん患者さんを支えるスペシャリストたち

リハトレ ~下肢筋力トレーニング~

定番メニューの減塩大作戦!

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

「出前講座」受講者のべ7,000人を突破!

2015年に開始した「出前講座」。2017年10月に開催回数130回を突破し、受講者はのべ7,000人を超えました。

八幡東区・八幡西区の市民センターや企業を対象に、当院の医師や看護師、リハビリ療法士、管理栄養士などが講師として赴き、気になる病気のことや治療方法、健康についての講座を行っています。

参加された方からは、「いろいろな情報がテレビ等で流れている中で、専門の医師に話を聞くことができ、よかった」「講義だけでなく運動もあり、楽しめた」などの感想がありました。これからも地域の皆さんの健康づくりを応援します。

◎詳しくは「出前講座」ホームページをご覧ください。<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>

【お問い合わせ・お申し込み】TEL093-672-3176 (担当)総務・人事課 高澄



診療科目

肝臓内科	消化器内科	循環器・高血圧内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	呼吸器内科	脳血管・神経内科	消化器外科	呼吸器外科
乳腺外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科
リハビリテーション科	形成外科	小児科	産婦人科	皮膚科
泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科	放射線科
麻酔科	歯科・口腔ケア科	病理診断科		

消化器病センター／乳腺センター／循環器・高血圧センター／脳卒中・神経センター／腎センター／内視鏡センター／がん診療支援センター

予約センター: 093-671-5489
夜間休日急患受付: 093-672-3111

全科予約制

予約受付時間/8:00~16:00
当日予約/10:30まで
休診日:土曜、日曜、祝日



使命 住民の暮らしを支え、健康長寿をめざした地域づくりに貢献します

理念 皆さまが納得・安心する最良・最適の医療を提供します
職員が誇りと自信を持つことができる職場づくりを追求します
地域における役割を認識し、住民から信頼される病院をめざします

こんにちは
せいてつ
病院です

社会医療法人 製鉄記念八幡病院 〒805-8508 北九州市八幡東区春の町1丁目1-1 TEL.093-672-3176

<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp> 編集・発行責任者: 病院長 土橋 卓也

●広報誌へのご意見はこちらまで/koho@ns.yawata-mhp.or.jp ●地域医療連携のお問い合わせ/TEL.093-671-9700

◎発行日:2018年1月1日 ◎発行部数:4,200部



薬剤師



リハビリスタッフ

特集

乳がん患者さんを支える スペシャリストたち

乳がんは女性が罹るがんのトップです。自分で発見できる唯一のがんのため、自己検診はとても重要です。加えて、定期的な検診が早期発見のカギを握ります。私たち製鉄記念八幡病院乳腺センタースタッフは、多数の職種がそれぞれの力を集結させて、乳がんの早期発見と治療に全力を注いでいます。



診療放射線技師



乳腺センタースタッフ



看護師



臨床心理士



医師



臨床検査技師

乳がんに関する疑問に答えます

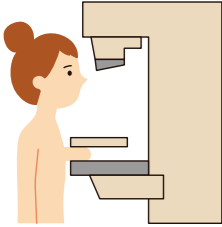
Q1 最近の乳がんの罹患者を知りたいのですが。

日本人女性の乳がん罹患者数は、年々増加しています。約9万人(2017年)と予測されています。これは12人に1人がかかる計算になります。他のがんは、高齢になるにつれて発症率が上がりますが、乳がんは30歳代で増加しはじめ、40歳代後半から50歳代前半にピークを迎えます。高齢になっても発症リスクが下がらないことが特徴です。早期発見が治療のカギになります。



Q2 乳がん検診受診率。福岡県は低い?!

福岡県の乳がん検診受診率(40歳から69歳女性・過去2年間)は、全国平均44.9%を下回り、40.9%です。これは全国で38番目にあたる低い数字です(2016年国民生活基礎調査)。乳がんは早期に見れば、根治の確率が上がります。定期的な検診を行うようにしましょう。



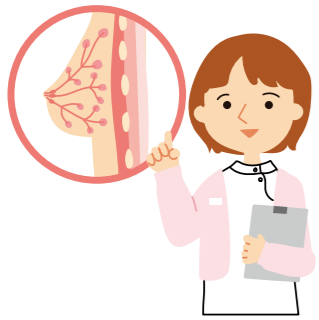
Q3 検診は何歳から受ければいい?

40歳を過ぎたら、年に1度のマンモグラフィ検査をおすすめします。現在、主な画像検査はマンモグラフィとエコーが主流で、それぞれに特徴があります。とくに、乳腺が発達している「高濃度乳腺」の若年層に対しては、より正確な診断のため、これらの検査を併用することが推奨されています。



Q4 健康診断で「要精密検査」が
出ました。不安で仕方ありません。

要精密検査は「疑わしい所見があるので、さらに詳しい検査をしましょう」という意味で、乳がんと確定したわけではありません。過度に心配して、検査を先延ばしすることなく、早めに病院を受診しましょう。



乳腺センター長より

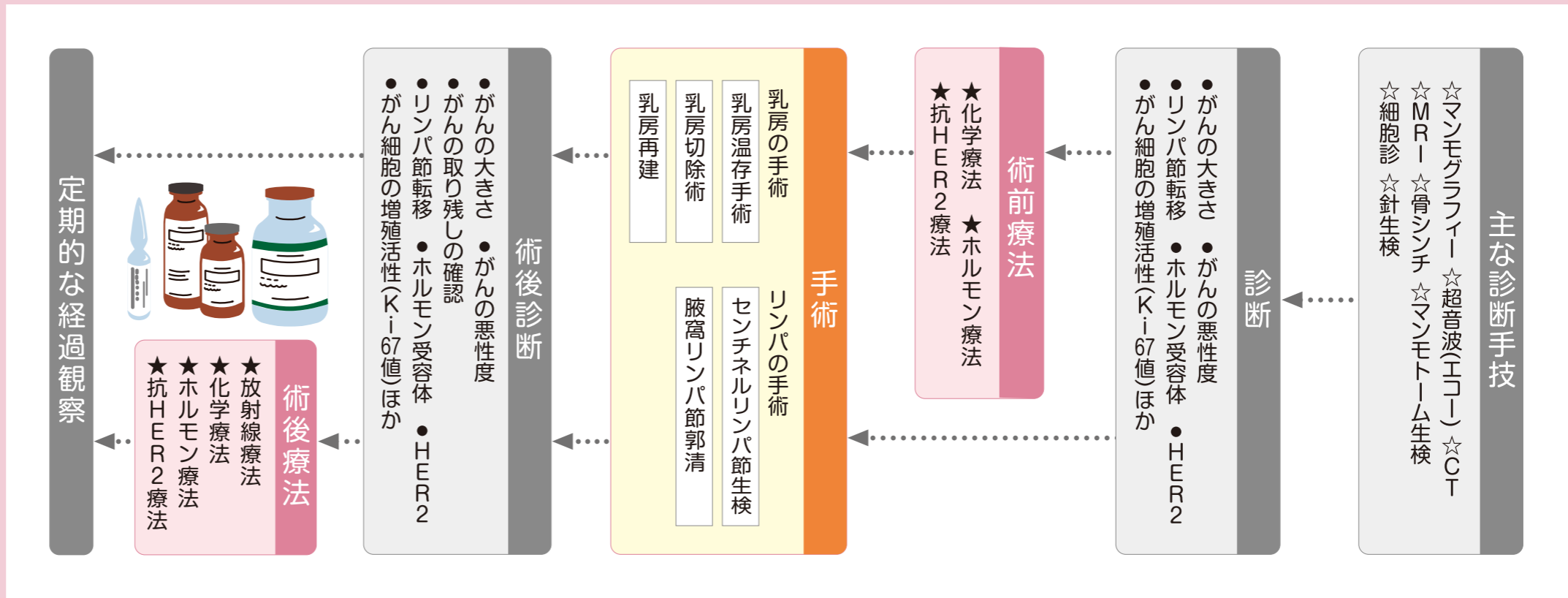
当院では2016年8月に乳腺センターを開設しました。乳腺に関する検査、診断、治療に関してそれぞれの分野のスペシャリストたちが集結し、正確な診断と最新の治療を安全に提供すべく、日々、診療を行っています。

また、乳がんの治療にあたっては治療に伴う心理的・社会的不安の軽減などにも配慮し、患者さんの支援・相談を患者さんやご家族のご協力のもとにチーム医療として幅広く行っています。

乳腺に関することでお悩みの方は、一人で抱えずに是非、一度、気軽に受診してください。



石川 幹真
日本乳癌学会乳腺専門医・指導医



がん診療支援センター

当がん診療支援センターでは、「告知を受け心が折れそう」「治療が不安」「副作用が怖い」「医療費がいくらかかるのか」「子供に病気のことを伝えたくない」など、患者さんご家族が抱える「がん特有の不安や疑問の解決に、多職種より構成された医療スタッフで対応しています。私たちは、患者さんと家族に寄り添い、次のアクションを起すための支援、安心して治療を続けるためのガイド役として、お役に立てることを目指しております。特別な手続きは不要です。いつでもご利用ください。

サポートするスタッフ

当院は医師以外は基本的に、認定を受けた女性スタッフが担当します。

診療放射線技師

マンモグラフィ、MR、RIなどの画像診断、マンモトーム生検、リニアックを使った放射線治療を担当します。マンモグラフィ検査は、病気に対する不安に、検査に対する恐怖が重なって、かなり緊張して来られる患者さんも少なくありません。



臨床検査技師

乳房や脇の下に超音波を当てて行うエコー検査は痛みもなく、腫瘍の詳しい性状の判別や細胞を採取する検査などで威力を発揮します。特に乳腺の発達している若年層に有効で、妊娠中・授乳中も検査ができます。JABTS認定技師も在籍し、質の良い検査を目標にしています。



薬剤師

薬剤師は医師と協同して薬物治療を行います。抗がん剤やホルモン剤治療が始まる前の患者さんに、薬の副作用などについて説明します。副作用と聞いて不安になる患者さんもいらっしゃいますが、起こりうる副作用を知っておくことで心構えができたり、すぐに対策がとれるなどメリットがあります。



看護師

乳がん患者さんが入院される病棟は、看護師、看護補助者、クラークなどスタッフで一丸となって、患者さんの支援を行っています。不安な気持ちに寄り添える看護が提供できるように、多職種と連携して取り組んでいます。ゆったり安心して療養していただくために、思いやりの心でサポートします。



リハビリスタッフ

乳がんの手術後は「腕が上がりにくい」「腕がむくむ」などの後遺症が残ることがあり、少しずつでも早期から腕を動かすことが重要です。リハビリスタッフは入院中から、腕を動かす練習や退院後の日常生活のポイントの学習などを担当します。体を動かすことは体力向上だけでなく、再発予防や疲労・落ち込みの改善にも効果があるとされています。退院後も、ご本人らしい毎日を過ごせるようなお手伝いを心がけています。



臨床心理士

臨床心理士は心理的側面についてのサポートを担当しています。手術・入院が決まった患者さんに対し、入院前の状況を把握するため心理検査を実施しています。入院後は手術の前後でお部屋にうかがい、お気持ちの面について患者さんと一緒に点検しながら退院を目指します。手術や入院生活などで不安を感じることは、どなたにも起こりうる、ある意味自然な反応であると考えられています。患者さんやご家族が動揺されているときは、本来その方が持つ「お力」を思い出し出しているだけのように、心がけながらお会いしています。



5分でわかる医療制度⑥

「登録医」って何？地域医療支援病院の役割

玄関ロビーにある「かかりつけ医のご紹介」掲示板をご覧になったことがありますか？

検査や入院が必要な時、かかりつけ医からの紹介状により大病院で診療を受け、診断が確定したり症状が安定したら、また紹介状でクリニックに戻る仕組みを「地域医療連携」といいます。これは国が2025年をめざして推進している「地域包括ケアシステム」の一部であり、大病院やクリニック等の機能・役割分担を明確にしたものです。

かかりつけ医の先生方が製鉄記念八幡病院の「登録医」となっていただくことにより、当院の開放型病床において共同で診療できるシステムがあります。登録医の先生と当院主治医が互いに患者さんの治療経過や検査結果等を把握でき、より地域医療連携をスムーズに行うことができます。患者さんにとりましても、かかりつけ医が共同で診療していただくことは大きな安心につながります。

当院はこのような地域医療連携を担う「地域医療支援病院」の指定を受けています。地域医療支援病院とは、地域に必要な医療を確保する目的から、病院・診療所などの「かかりつけ医」を支援する病院です。

当院では179施設204名(2017年11月1日現在)の医師に登録していただいております。地域医療連携を積極的に推進しています。

(経営戦略室副室長・秋吉 裕美)



【地域医療支援病院の役割・条件】

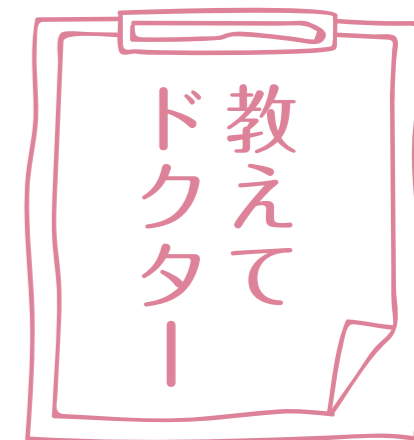
「かかりつけ医」の先生が、手術など専門的な医療を必要と判断した患者さんに対し、紹介状(診療情報提供書)を発行し、それに基づき適切な医療を提供する病院として、都道府県知事より承認を受けます。

- ◎24時間体制の緊急医療を提供する
- ◎地域の医療機関に対して、高額な医療機器や病床を提供し共同利用する
- ◎地域の医療従事者の向上のため、生涯教育などの研修を実施
- ◎施設が、必要な構造を有している

新年あけましておめでとうございます。
今回は眼科の知られざる奥深いお話です。
年齢とともに増える眼科疾患といえば、そう、**白内障**ですね。
医療の整った我が国では失明原因の第1位は緑内障ですが、発展途上国ではいまだに白内障により多くの視力が失われています！
まずは白内障のちよつと

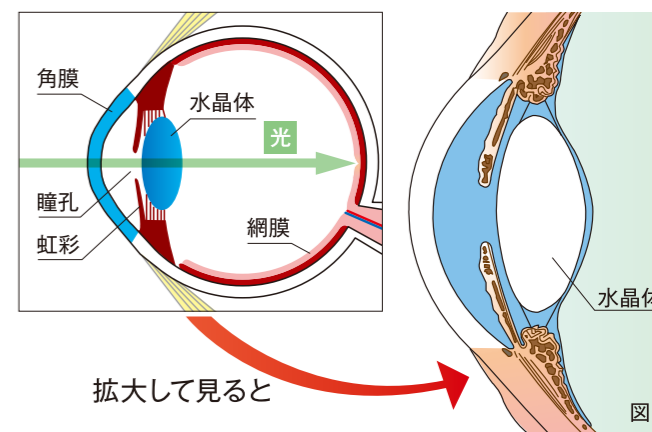
した勉強を。
朝食での目玉焼き。熱で卵が白く変化しますよね。これはタンパク質が熱によって変性(変化)し色が変わるのです。
卵と同じ様に、白内障は水晶体と呼ばれる部分が年齢や様々な病気により、変性してしまうのです。
図1では目の構造を示していますが、黒目(角膜)の内側にある水晶体が濁って

たかが白内障、されど白内障



眼科主任医長
医学博士
荒川 聡
(あらかわ さとし)

しまう事で、**かすみやまぶしさ、視力低下の原因**になってしまいます。
程度の差こそあれ、日常生活での過ごしやすさ(QOL)は下がってしまいます。
見えにくい事が原因で転倒してしまい、骨折での長期の入院生活を余儀なくされると、ベッド上での生活が長くなり、普段の自分らしさを



拡大して見ると

図1



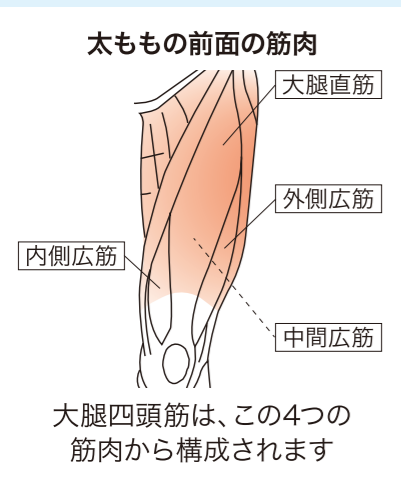
◎造影検査を減らし、目の奥の評価が可能に
◎より精度が高い画像
◎多くの機能を持ち、万能な一台

図2

失う可能性にも。
合併症はゼロではない手術ですが、多くの方が視力を取り戻し生活されています。
今まで眼科にはお世話になった事がない方。何となく今までと違う感じがあればお近くの眼科へ！
また、当院では日本での失明率第4位であり、近年の増加傾向を示す**加齢黄斑変性**など、多くの疾患での検査に対応する機器を導入しています(図2)。
気軽に来院ください。

リリトレ

下肢筋力トレーニング 大腿四頭筋編



大腿四頭筋(だいたいしとうきん)という筋肉をご存じですか？
太ももの前側に位置する筋肉で、主に膝を曲げた状態から伸ばす役割があります。
大腿四頭筋は膝関節への衝撃を吸収したり、膝に安定性を持たせるうえで、とても重要な筋肉です。

- 注意点**
- ①実施中は呼吸を止めない
 - ②強い関節痛がある場合には無理せず治療を優先する
 - ③筋肉痛がある場合には負荷や頻度を下げて調整する

筋力が低値であると、膝痛の発生割合が高くなるといわれ、各種治療ガイドライン等でも筋力トレーニングは強く推奨されています。

大腿四頭筋などの筋力は男女共に40歳以降になると、年齢に伴い低下します。

(表)体重と膝関節負荷

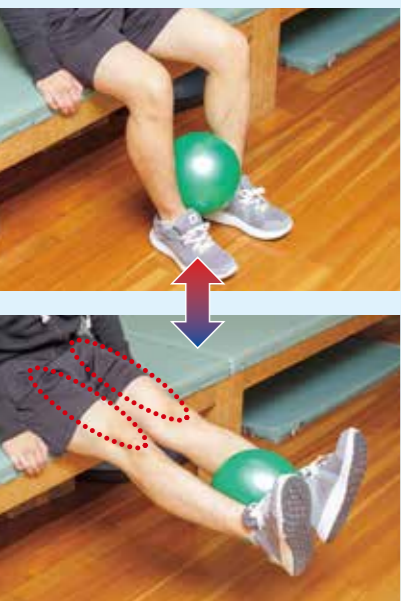
活動・運動	膝への負荷(x体重)kg
歩行	3
階段昇降	6~7
椅子からの立ち上がり	3~7
自転車こぎ	1.2

動作によって膝関節には大きな負担がかかります。歩行であれば体重の約3倍、階段の上り下りには体重の6~7倍程の負荷がかかるといわれています(表)。



理学療法士 永田 鉄郎

トレーニング②



トレーニング①



- 筋力トレーニングの方法**
- ①赤丸の部分の筋収縮を意識する
 - ②できるだけ強く力を入れて、3~5秒保持する
 - ③回数は10回程度を目標にして1~3セット実施
 - ④頻度は週2~4回をめやすに



トレーニング③

テーマ
減塩大作戦！
定番メニューの塩分をカット
家族みんなに人気のメニューをスパイスや香味野菜を使って上手に塩分カットしましょう。
塩分の摂りすぎは大人だけでなく、子どもにも影響を及ぼします。
また、減塩はカロリーオフにもつながります。定番メニューだからこそ、減塩チャレンジしてみてください！



レシピ監修:管理栄養士
中島 悠 福田 陽子

おいし いピ ンピ

カラダにやさしい

洋 スパイスと香味野菜で 減塩カレーライス



塩分
61%
カット

(1人分)

エネルギー	442kcal	塩分	1.4g
-------	---------	----	------

材料(1人分)
ご飯150g、ナス50g、ピーマン25g、ニンジン10g
玉ネギ50g、しょうが1g、にんにく1g、豚ひき肉40g
トマト缶100g、カレー粉小さじ1、コンソメ0.5g、塩0.5g
こしょう少々、ローリエ1枚、ケチャップ小さじ1
ソース小さじ1、ブロッコリー30g、卵1個

(作り方)
①ブロッコリー以外の野菜をみじん切りにし、ひき肉と一緒に炒める
②トマト缶、カレー粉、塩、こしょう、コンソメ、ローリエを加えて煮込む
③仕上げにケチャップとソースを加える
④皿に盛り、ゆでたブロッコリーと卵を添える

和 薄味でも旨味ひきたつ 減塩いなり寿司(五日・香味)



塩分
50%
カット

(2個分)

エネルギー	209kcal	塩分	1.0g
-------	---------	----	------

材料(2個分)
油揚げ1枚、ご飯70g
A:だし汁25g、しょうゆ小さじ2/3、砂糖小さじ1
B:砂糖小さじ1、酢小さじ1、塩0.4g

【1】五目いなり:干しいたけ1g、ニンジン3g、レンコン3g、ゴボウ3g
【2】香味いなり:しょうが2g、大葉1/2枚、いりごま1g、ごま油1g

(作り方)
①油揚げを半分に切り、口をあげ、油切りする。
鍋に油揚げとAを入れ、落としぶたをして弱火で煮る。火からおろし味を含ませる
②【1】の干しいたけは水で戻し、ニンジン、ゴボウは細切り、レンコンは薄切りにする
③【2】のしょうが、大葉は細切りにする
④ご飯にBを加えて半量に分け、それぞれに【1】、【2】の材料を加えて混ぜ、油揚げにつめる



なるほど医療

砂糖を「見える化」しよう

WHO（世界保健機関）は1日の砂糖摂取量の目安を、1日に摂る総エネルギー量の5%未満に抑えるべきというガイドラインを発表しました（2015年3月）。

これは砂糖25グラムに相当し、スティックシュガーで換算すると8本分となります。

気になるあのスイーツには、どれだけの砂糖が含まれているのでしょうか。



診療放射線技師 一瀬 隼仁 (いちのせ じゅんじ)

私たちの主な仕事は医師の指示にしたがって、レントゲンやCT、MRIなどで検査を行い、病変を正確かつ安全に撮影すること。その画像を分かりやすく加工して、医師の診断や治療に役立ててもらおうこと。そして、がんなどの病気を放射線で治療することなどです。

技師になって16年。医療機械はめまぐるしいスピードで進化を続けています。もし、技師になりたての自分が今の医療現場を覗いたら、目を丸くすることばかりだと思います。

機械の進歩とともに、私たちは撮影や画像加工の方法など、常に新しい知識や技術を学び、マスターすることが求められます。医師が診断、治療したい病気を考慮して、より必要とされる画像を準備できることが、放射線技師の腕の見せどころともいえるのでしょうか。

患者さんとコミュニケーションをとる機会は、看護師やリハビリスタッフなどと比べれば少ないですが、機械や検査に対する質問や放射線被ばくのことなど、不安に思われていることは納得されるまで、丁寧に説明することを心がけています。

検査で使われる放射線量は人体に影響を及ぼさないレベルです。検査を受けるベネフィット(利益)と被ばくすることのリスクや検査を受けないデメリットを考え、どちらを優先すべきか。しっかりと理解して、安心感を持って検査にのぞんでいただく努力を続けていきます。

砂糖を過剰摂取すると？

肥満 肥満は高血圧や糖尿病といった、生活習慣病を引き起こす要因になります。

虫歯 虫歯菌は砂糖を栄養源として増殖します。

力不足 砂糖の消化に必要なビタミンB群やカルシウムなどの栄養素が不足し、イライラしたり気持ちが落ち込みやすくなります。

砂糖の過剰摂取はこのような症状を引き起こす可能性が大きくなります。間食はできるだけ毎日の習慣にせず、甘い物が食べたくなったらフルーツや乳製品、シュガーレスの食品をうまく活用しましょう。

「無糖」「ノンシュガー」って、本当に砂糖0?!

「無糖」や「ノンシュガー」と表記された食品や飲料を目にすることがあります。これは、100グラムあたりに含まれる糖分が0.5グラム未満であれば、表示できる決まりなので、実は砂糖ゼロというわけではありません。無糖やノンシュガーだからと、安心して食べ過ぎたり飲み過ぎると、結局は砂糖の多量摂取になってしまいます。ご注意ください！



連携介護施設紹介

社会福祉法人 年長者の里 グループホーム大蔵



「挨拶・笑顔・敬語・気配り」をスタッフのモットーにしています。口腔ケアや体操、散歩などを日課に取り入れ、季節のイベントや外出を充実させています。同じ法人に「たつのおとしごクリニック」があるので、体調が優れない際の受診やもの忘れ外来への受診が可能です。

Q 特徴はどのようなところですか

ご入居者が穏やかにのんびり、笑顔で暮らせるように「挨拶・笑顔・敬語・気配り」をスタッフのモットーにしています。口腔ケアや体操、散歩などを日課に取り入れ、季節のイベントや外出を充実させています。同じ法人に「たつのおとしごクリニック」があるので、体調が優れない際の受診やもの忘れ外来への受診が可能です。

Q 施設のご紹介をお願いします

当施設は要支援2以上で、認知症の症状がある方を対象に、1ユニット(定員9名)で共同生活を行う施設です。リビング・キッチン・浴室などの共用スペースと個室があり、家庭的な雰囲気の中で、日常生活の援助や心身の機能訓練をとおして、ご入居者が可能なかぎり自立した生活を送られるように、スタッフが支援しています。

A 特徴はどのようなところですか



Q 今後の展望について聞かせてください

医療面のケアが難しいため、身体状況が著しく悪くなったり、入院期間が長くなったりすると、退居しなければなら

A



グループホーム大蔵 定員:2ユニット(18名)
北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1 TEL.093-652-3305



い場合があります。できるだけ病気をせずに、長くお元気に過ごしていただきたいというのがスタッフの願いです。目の届きやすさ、コミュニケーションの取りやすさなど、グループホームの利点を最大限に發揮して、これからも地域のお役に立てるように頑張っていきたいと思っています。

連携クリニック紹介

つのだ内科循環器科クリニック



院長 角田 稔 先生

Q クリニックのご紹介をお願いします

専門は循環器内科で1999年に開業しました。狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患は、糖尿病と密接な関係があります。心臓病患者さんの約4割の方が糖尿病をお持ちなので、その治療にも力を入れています。糖尿病は血糖コントロールを適切に行わなければ、さまざまな合併症を引き起こす危険性があります。「持病を重症化させない」をモットーに、丁寧な診察を心がけています。

Q 生活習慣病の患者さんの診察で大切なことは何ですか

とくに体の不調がないのに、薬を飲むことやインスリンを打つことに疑問を感じている患者さんいらっしゃいます。その意識が変わらなければ、途中で治療をドロップアウトしてしまう可能性がありますので、いかに継続治療が重要なのか、その方が理解され

A とくに体の不調がないのに、薬を飲むことやインスリンを打つことに疑問を感じている患者さんいらっしゃいます。その意識が変わらなければ、途中で治療をドロップアウトしてしまう可能性がありますので、いかに継続治療が重要なのか、その方が理解され



るまでじっくり説明しています。また、患者さん向けの院内勉強会を月2回開催し、治療の疑問や不安の解消に役立ててもらっています。

Q 患者さんとのコミュニケーションについて

「診察の時はどうしても緊張して、話が右から左に流れてしまう」という方もいらっしゃいます。当院では看護師が医師と同じ内容や細かい留意点など、ダブル体制で説明するようにしています。糖尿病療養指導士も

A 「診察の時はどうしても緊張して、話が右から左に流れてしまう」という方もいらっしゃいます。当院では看護師が医師と同じ内容や細かい留意点など、ダブル体制で説明するようにしています。糖尿病療養指導士も

Q スタッフのやりがいはどんなことでしょうか

入居された頃と比べて、表情が豊かでお元気そうな姿を見ると、とてもやりがいを感じます。ご入居者の中には、食事の後片付けや洗濯のお手伝いなど、生活の知恵を教えてくださいる方もおられ、こちらが勉強になることも多いです。

A 入居された頃と比べて、表情が豊かでお元気そうな姿を見ると、とてもやりがいを感じます。ご入居者の中には、食事の後片付けや洗濯のお手伝いなど、生活の知恵を教えてくださいる方もおられ、こちらが勉強になることも多いです。

2名いますので、食事や運動など生活上の気になることなど、いつでもご質問ください。

Q 2018年の抱負をお聞かせください

今年も「ホスピタリティ」の心で、患者さん一人ひとりの病状に合わせた治療やケアに、スタッフ全員で取り組みます。何か気になる症状がありましたら、いつでもご来院ください。

A 今年も「ホスピタリティ」の心で、患者さん一人ひとりの病状に合わせた治療やケアに、スタッフ全員で取り組みます。何か気になる症状がありましたら、いつでもご来院ください。



つのだ内科循環器科クリニック
北九州市八幡西区木屋瀬361-10 TEL.093-618-6662
【診療時間】 9:00~13:00、15:00~18:00
【休診日】 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

次号から
広報誌の“顔”が変わります

毎号、季節の風物詩とキャラクター「コテツ」のコラボレーションで読者を楽しませてくれた広報誌の表紙が変わります。

2005年春号(vol. 60)から、50号以上にわたり、描き下ろしていただいた川口珠代さん。長い間、本当にありがとうございました。



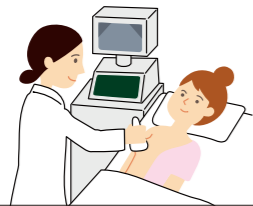
「第59回せいてつ病院
健康講座」のご案内

【日時】2018年2月26日(月)
14:00~15:30
【場所】製鉄記念八幡病院 管理棟3階
(第3会議室)
【テーマ】「食事の時にむせていませんか?
嚥下障害と予防」
加齢とともに咀嚼(そしゃく)能力や唾液量が低下し、低栄養や脱水、食べ物が気道に入る誤嚥性肺炎などが起こりやすくなります。正しい口腔ケアを行い、肺炎の予防につなげましょう。
【講師】岩松 香菜子・櫻木 ゆり
(摂食・嚥下障害看護認定看護師)

お問い合わせ
地域医療・情報センター TEL.093-672-3176
※お申し込みは不要・参加費無料です。
無料駐車券を準備しています。

乳腺ドックのご案内

【検診日】月~金曜日 11:00開始
【検査内容】マンモグラフィー(2方向)
診察、視触診、エコー
【費用】9,000円(税別)
※予約は検診希望日の2週間前までに
ご連絡ください。
※検査結果は郵送でお送りします。



お問い合わせ・ご予約は/予約センター(完全予約制)TEL.093-671-5489 (平日 8:00~16:00)

当院は北九州市
乳がん検診実施医療機関です

【対象者】市内にお住まいの40歳以上の女性
【検査内容】マンモグラフィー
【受診回数】2年に1回
【受診料】1,000円
次の方は受診料が免除になります。
・70歳以上の方
・市民税非課税世帯の方
・生活保護世帯の方
・後期高齢者医療被保険者証を持っている
65~69歳の方
・有効な無料クーポン持参の方



四季の味「力」

当院から歩いて5分、中央町の商店街に47年前からある小料理のお店です。店主は京都で2年近く修行した後、八幡に戻り、先代と暖簾を守ってこられました。今では後を引き継ぎ、「中央町はい町で、ぼちぼちやっています」と笑顔を向けられました。

昔からの馴染みのお客さんが80代、90代になられても来店してくれて、まるで親のように感じられるそうです。昔の中央町は鉄の城下町として栄え、起業祭で賑わったことや、お店にドリフターズや美川憲一さんなどの芸能人が訪れたエピソードも聞かせていただきました。

新鮮なお刺身や、あら炊き、煮物などどれも美味しく、店主自慢のトンかつとエビフライは豪快でファンが多いそうです。懐かしくて温かい、店主のお人柄そのものを感じました。ギターリストの顔を持つ店主の緒方さん。流れているジャズを聴きながら、美味しい料理での癒しはいかがでしょうか。(経営戦略室副室長 秋吉裕美)



四季の味「力(ちから)」
住所/北九州市八幡東区中央2-14-19
お問い合わせ/093-681-1919
営業時間/17時~21時(L.O)、21時半まで
お休み/土・日・祝日 ※駐車場なし



院内でみつけた
「Story」
「70年続く理髪店」

70年ほど前から当院には理髪店があります。

入院中や外来の患者さんだけでなく、退院されて元気になられた方も来店します。ここを選ぶ理由は、「病気のことを説明しなくていいから」「車イスでも対応してくれるから」「気の置けない理容師さんだから」などのようです。

スタッフの後藤さんが、病室ではできない世間話に相づちを打ちながらハサミをうごかし、髪の毛だけをなぐ、気持ちよく、すすりさせてくれます。

